

令和7年度 安中市当初予算

選ばれるための政策総動員予算パート2

過去最大 326億2,000万円

本年度は「選ばれるための政策総動員予算パート2 未来へつなぐ拠点づくり」をテーマに、引き続き魅力あるまちづくりを進めていくとともに「STOP少子化」を重点に、子育て支援の充実や若者の定住促進、地域経済の活性化を柱に予算編成したところ、一般会計の総額は、過去最大の326億2,000万円で前年度に比べて13.1%増になりました。

本号では、その概要の中から主な施策を紹介します。



重点テーマ STOP少子化

「未来をつなぐ、小さな手 みんなで育む、大きな希望」

全国的に人口減少が進む中でも、市民の皆さんが「安中市で暮らしたい」、「子どもを育てたい」と思ってもらえる、そんな環境を整えていくことが緊急の課題です。本年度は子育て世帯を支援するため、関連予算を前年度比9.5%増の42億6,000万円としました。

■大学受験料等補助金(新規)

ひとり親家庭や低所得世帯のこどもの進学に向けた努力を支援するため、大学受験料(1人あたり上限5万3千円)や高3模試(同8千円)、中3模試(同6千円)の受験料を補助します。

(204万円)



■不妊・不育症治療費助成事業(拡充)

不妊・不育症治療に係る自己負担額を不妊治療は上限10万円、不育症治療は上限20万円まで全額補助し、治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図り、更なる少子化対策を推進します。

(520万円)

■マタニティサポート給付金(拡充)

妊娠届出時と出産後に各5万円をUMECAで給付します。さらに、市独自の施策として第3子以降は出産後の給付に3万円上乗せし、子育て家庭が安心して出産・育児できるよう経済的支援を行います。

(2,200万円)



■結婚支援事業(一部新規)

結婚し、新生活を始める夫婦に対し、住居補助など経済的負担の軽減を図ります。また、結婚を希望する人に出会いの機会をつくるイベントや、若者にライフデザインセミナーを開くなど、幸せな未来づくりを支援します。

(908万7,000円)